



こあら通信

小栗小児科医院 2017年 10月 134号
〒933-0014 富山県高岡市野村869
TEL: 0766-23-2229
URL: <http://oguri-shounika.com>

愛着の絆の大切さとそれを深める子育て支援

ヘネシー澄子先生

第27回日本外来小児科学会に参加して



「保護の鎧」というお話がありました。子どもを励ましたり、認めたりする言葉をかけることで、心にたくさんの鎧を着せることができるというものです。たくさん着せてもらった子どもは、人生のトラウマ的出来事から立ち直る弾力性が身につくそうです。

安心・安全感を与える行動

アイコンタクト
目と目を合わせる

**赤ちゃんと言葉を
合わせる**
表情や声をまねる
(相互作用)

だっこ・おんぶ (密着、安心感)

抱かれてばかりいたら「甘やかす」という考えが、「抱き癖」という言葉を作り出したのでしょうか。ところがです。最初から抱かれて育った赤ちゃんには「抱き癖」など付かず、かえってある時期が来ると「もういいよ」というように親から離れ、周囲を探検し始めます。親が必ず自分を見守っていると確信しているからです。

昔、赤ちゃんは揺りかごや、保護者の背中に負ぶさって静かに揺すってもらいました。このような「ロッキング」が乳幼児に快く、脳と肉体の発達を促します。

親の優しいタッチ・抱擁

保護者にとってはなんでもないことですが、これが愛着の絆を深める行動なのです。ちょっとしたときに、「理由もなく」子どもを愛撫しましょう。子どもの方も何気なく親に近寄ってきますので、乳幼児は顔や頭を撫ぜ、大きい子には背中や肩や二の腕などを撫でてあげましょう。

人から優しくハグされると、脳内に私たちが心地よくしてくれるセロトニンという化学物質が沢山分泌されます。

親の優しい表情

自分に笑いかけているお母さんの目ほど子どもにとって嬉しいものはありません。

私たちは悲しいから泣くだけでなく、泣き顔をすると本当に泣きたくなり、おかしくなくても笑い顔をするとおかしく、楽しくなるのです。行動から脳へのフィードバックの機能です。



「赤ちゃんが夜泣きして困っている。おしめも濡れていないし、ミルクも十分飲んだはずなのに、どうして泣くのか分からないので、自分まで悲しくなる」というお母さんはいらっしゃいませんか？

新生児は、胎児期に母親の子宮の中でしっかり守られていたのに、その守りが急になくなって、不安になって泣いたりむずかたりするので、赤ちゃんの夜泣きや理由のないむずかたりを鎮めるには、母親の胎内にいた環境に戻してあげるとよい」ということです。

泣き止まないときは、おくるみなどで腕をしっかり包み込んで抱っこして、ゆっくり揺らしてあげましょう。



休診のお知らせ

12日(木) 14:00~15:30
13日(金) 14:00~16:00

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

